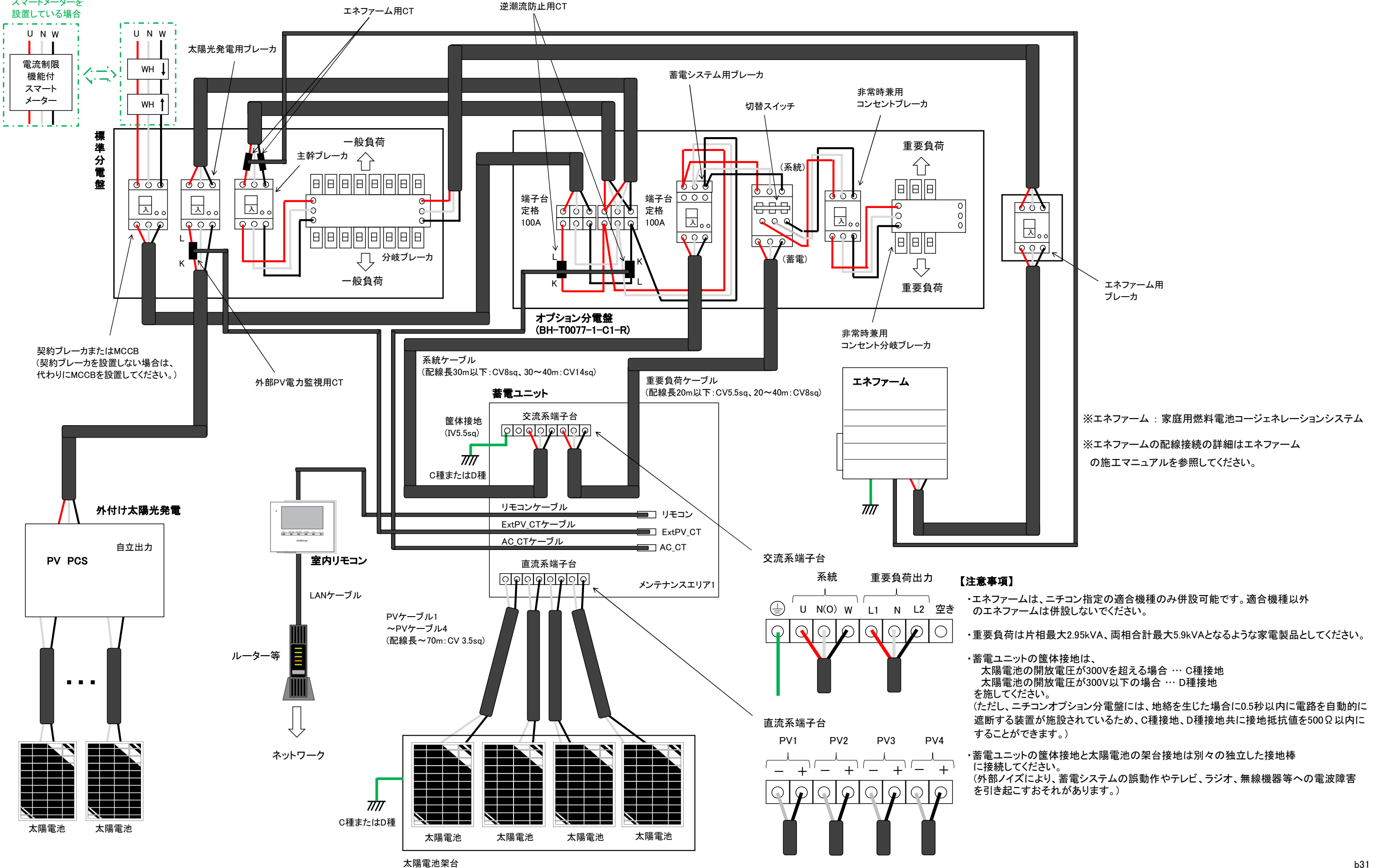


**【ESS-H1L1】 エネファーム 配線1 - ニチコンオプション分電盤利用**  
 (通常時のみエネファームを運転させ、一般負荷のみに電力を供給する場合)

系統 1φ3W 100/200V

電流制限機能付  
スマートメーターを  
設置している場合



※エネファーム：家庭用燃料電池コージェネレーションシステム  
 ※エネファームの配線接続の詳細はエネファームの施工マニュアルを参照してください。

- 【注意事項】**
- ・エネファームは、ニチコン指定の適合機種のみ併設可能です。適合機種以外  
のエネファームは併設しないでください。
  - ・重要負荷は片相最大2.95kVA、両相合計最大5.9kVAとなるような家電製品としてください。
  - ・蓄電ユニットの筐体接地は、  
太陽電池の開放電圧が300Vを超える場合 … C種接地  
太陽電池の開放電圧が300V以下の場合 … D種接地  
を施してください。  
(ただし、ニチコンオプション分電盤には、地絡を生じた場合に0.5秒以内に電路を自動的に  
遮断する装置が施設されているため、C種接地、D種接地共に接地抵抗値を500Ω以内に  
することができます。)
  - ・蓄電ユニットの筐体接地と太陽電池の架台接地は別々の独立した接地棒  
に接続してください。  
(外部ノイズにより、蓄電システムの誤動作やテレビ、ラジオ、無線機器等への電波障害  
を引き起こすおそれがあります。)

**【ESS-H1L1】 エネファーム 配線2 - ニチコンオプション分電盤利用**  
 (通常時、停電時ともにエネファームを運転し、重要負荷のみに電力を供給する場合)

系統 1φ3W 100/200V

